

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月 ~4日	6月 ~11日	6月 ~18日	6月 ~25日	7月 ~2日	
カンピロバクター	69	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	57	11	14	19	23	16	
病原性大腸菌	62	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	120	27	28	27	25 (1)	28	
腸管出血性大腸菌	0	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	0	1	0	0	0	
サルモネラ	5	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	7	3	5	0	5	7	
黄色ブドウ球菌 MSSA	20	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	21	1	2	2	3	2	
黄色ブドウ球菌 MRSA	19	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	14	3	1	3	3	3	
腸炎ピブリオ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	1	1	0	2	1*	
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アデノウイルス	0	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	2	1	1	0	0	0	
ノロウイルス	2	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

* その他の1件は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第26週(6月26日~7月2日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3			2			1	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	7	重症熱性血小板減少症候群	1					1		
		日本紅斑熱	2					1	1	
		レジオネラ症	4	1				3		
五類	17	ウイルス性肝炎	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3					1	2	
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					1		
		水痘(入院例)	1		1					
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1						1	
		梅毒	9				2		5	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり6.42人の報告があり、前週の約1.9倍に増加しました。高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクも高まります。手洗い、換気、医療機関や混雑した電車・バスでのマスク着用など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

2 ヘルパンギーナ

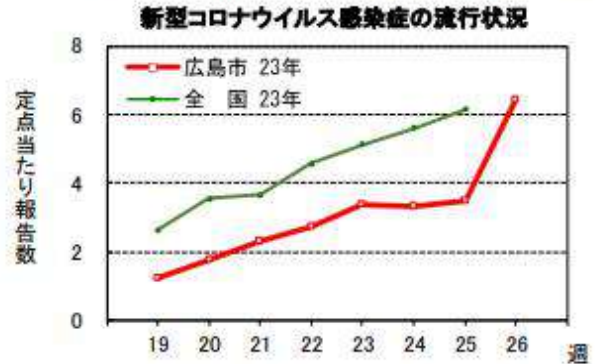
定点当たり2.79人の報告があり、増加が続いています。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

3 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

今年初めての報告が1件ありました。

4 日本紅斑熱

1件の報告があり、今年の累計は2件となりました。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間(注))	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね 1:2以上の増減								
												↑	↓									
インフル	インフルエンザ	34	0.94	-	◇	小児科	ヘルパンギーナ	67	2.79	0.71	◇	↑	↓	前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減								
	新型コロナ(COVID-19)	231	6.42	-	◇		流行性耳下腺炎	2	0.08	0.19	◇	↑	↓	前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減								
小児科	RSウイルス感染症	71	2.96	1.01	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.15	◇	↑	↓	前週と比較しておおむね ほとんど増減なし								
	咽頭結膜熱	5	0.21	0.49	◇		流行性角結膜炎	3	0.38	0.38	◇	↑	↓	ほとんど増減なし								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	74	3.08	1.33	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	◇	報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。										
	感染性胃腸炎	116	4.83	4.23	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-	◇	<table border="1"> <tr> <td>インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>小児科定点数</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>眼科定点数</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>基幹定点数</td> <td>7</td> </tr> </table>			インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36	小児科定点数	24	眼科定点数	8	基幹定点数	7
	インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36																				
	小児科定点数	24																				
	眼科定点数	8																				
	基幹定点数	7																				
	水痘	2	0.08	0.18	◇		マイコプラズマ肺炎	-	-	-	◇	(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)										
	手足口病	17	0.71	3.67	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	◇											
伝染性紅斑	-	-	0.16	◇	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.09	◇													
突発性発しん	6	0.25	0.36	◇					◇													

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	10	60歳代・O血清群不明・推定感染地域: 国外
4	重症熱性血小板減少症候群	1	1	80歳代
4	日本紅斑熱	1	2	70歳代・市外
4	レジオネラ症	3	16	60歳代・2人、70歳代・1人
5	ウイルス性肝炎	1	4	70歳代・B型
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	5	80歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	4	70歳代・エイズ
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	10歳未満
5	梅毒	5	135	40歳代・1人、50歳代・2人、60歳代・2人